

令和 2 年度釜石市スポーツ推進課 事業報告

No.	事業名	結 果
1	第 15 回釜石市長杯 スポーツチャンバラ 大会	これまで 13 回に渡り大会を開催してきたが、昨年度から競技人口の減少により開催出来ないものとなっていた。今年度の開催も検討していたが、 <u>競技人口の減少及びコロナ禍の影響により開催は中止</u> とした。スポチャンは一定の効果は達成されたものとし今後は開催しないものとする。
2	東海市スポーツ 交流事業	これまで、相互の交流として各種スポーツを素材として継続的に実施しており、今年度は当市が受入側として、東海市のみならず袋井市及び豊田市（RWC2019 開催地）を招き中学生のラグビー交流を予定とし東海市と協議を重ねてきたが、 <u>コロナ禍により中止</u> となった。
3	第 11 回仙人峠 マラソン大会	当大会は全国大会のためこれまでも多くの地域からの参加があったもの。全国規模の大会の為、毎年 7 月には応募を始めるが <u>コロナ禍の影響により中止</u> とした。次年度においては 10 月末に開催予定とする。
4	富山県朝日町 ビーチボール交流事業	当大会（競技）は、友好都市富山県朝日町の発祥であり、毎年釜石市ビーチボール協会が継続的に参加しており、今年度も参加準備を進めていたが、大会主催者より、 <u>コロナ禍の影響による中止</u> の通知があり、参加を断念した。
5	第 46 回釜石 健康マラソン大会	R2 より鶴住居復興スタジアムを会場として新たなコースで開催。コロナ禍の影響により県内の各種マラソン大会が中止になっていた中での開催で、感染防止の対策を講じて実施。当大会は市民参加が殆どであったが、今回は市外の参加が目立った。今大会を気に市民はもとより多くの方が参加できる魅力ある大会として次年度も継続して開催する。 〔時期〕 R2.10.10(土) 〔場所〕 鶴住居復興スタジアム 〔種目〕 ①マラソン：3.2km、2.3km、1.5km、400m(幼児の部) ②リレー：100m×4 ほか 〔参加者数〕 179 名出走
6	健康づくりによる復興 コミュニティ 形成支援事業	コロナ禍により通常通りの事業実施が困難な中、対策を講じながら、市民体育館を中心に市内約 500 回の健康教室を実施。コロナ禍で運動機会が減少する中、市民の心身の健康維持に大きく寄与したと言える。
7	釜石市体育協会 補助金助成事業	コロナウイルス感染拡大に伴い全国大会など大規模大会の中止が相次いだが、開催可能なスポーツ大会等の実施や各種競技の普及、競技力向上に向けての活動を積極的に実施しており、市民のスポーツ機会創出及び競技力育成に大きく寄与した。
8	各種スポーツ団体 大会等助成事業	主たる補助事業の、釜石はまゆりトライアスロン国際大会・釜石オープンウォータースイミング大会は、コロナ禍の影響により中止。
9	スポーツ情報提供事業	昨年度に新たな施設が完成されたことに伴い、市内スポーツ施設の HP を一新した。閲覧者に分かりやすく、イメージしやすい内容に心がけ広く周知することが出来た。

No.	事業名	結果
10	ラグビーによる 人材育成事業	児童らからは、協力、励まし合いながら、同じ目標を達成する大切さを学べた、シーウェイブス選手と触れ合え、一緒に活動できて楽しかった等、概ね好評だった。来年度に向けては、ゲーム的要素やメニューの増加、ステップアップを希望する声もあり、これらを踏まえてよりよい内容を検討し、取組みを継続する。
11	いわて・かまいしラグビーメモリアルイベント開催事業	メモリアルマッチ、ファンゾーンとも、入場者を通常の半分に制限して実施。運営面で多くの反省、課題はあったが、ラグビーワールドカップのような雰囲気来場者は楽しみ、また、感染や大きな事故、トラブル等もなく終えられた。 〔時期〕 R2.10.9（土）10（日） 〔場所〕 鶴住居復興スタジアム・市民ホール 〔内容〕・釜石シーウェイブス対クボタスピアーズ 〔入場者数〕 2,271人 ※結果 12-73 で釜石シーウェイブス敗戦
12	釜石 ラグビィグドリーム 2020	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、無観客試合のみとし、YouTube 登録チャンネル「ラグビーのまち釜石」にてリモート中継を実施した。交流イベントについては実施を見送った。 〔時期〕 R2.11.1（日） 〔場所〕 鶴住居復興スタジアム 〔内容〕 釜石シーウェイブス対ヤクルトレビズ ※結果 31-26 で釜石シーウェイブス勝利
13	スポーツ合宿誘致 促進事業	令和 2 年度新規事業として実施。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、受け入れ先を東北 6 県及び新潟県の団体に制限した。当初見込まれた団体の合宿が多数中止になったが、全国高校ラグビー大会に出場した秋田工業高、盛岡工業高のラグビー部が、同大会直前に補助金交付対象となる合宿を当市で実施。これらの他、補助金対象外を含む令和 2 年度合宿受け入れ状況は、17 団体・625 人であり、うち 10 団体 880 人が宿泊した。
14	令和 2 年度全国高等学校総合体育大会ボクシング競技大会開催事業	令和 2 年度インターハイ北関東大会分散開催によって、当市ではボクシング競技の開催を目指し、昨年度から本格的に事務を進め実行委員会も組織し開催に向けて取り組んできた。しかし、全国高体連は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和 2 年 4 月 26 日、 <u>8 月開催予定のインターハイ全競技の中止を決定。当市でのボクシング競技も中止となった。</u> 釜石市実行委員委員会は書面会議により 7 月 31 日の解散を決定した。

令和3年度事業計画

1. 運営方針

スポーツの推進については、令和元年度に市民体育館が完成したほか、ラグビーワールドカップ2019日本大会が開催されるなど、当市のスポーツに対する関心や期待、社会的な価値や意義は一層高まっている中で、東京オリンピック・パラリンピック開催や、ラグビーワールドカップ2019日本大会開催後の施設の有効利用なども見据えながら、当市の自然環境や世界遺産登録された「橋野鉄鉱山」をはじめとする歴史・文化などを素材として取り入れた「スポーツ資源」と「観光資源」の融合を図り、交流人口の拡大や地域経済への波及効果など、新たな地域の価値を創出すべく「スポーツツーリズム」の推進に取り組みます。

コロナ禍により、当市の恒例スポーツイベントである、はまゆり国際トライアスロン、釜石健康マラソン、かまいし仙人峠マラソン大会等も中止となった他、各種目別協会主催の県規模の大会や市民レベルの各種スポーツイベントや愛知県東海市や富山県朝日町とのスポーツ交流事業についても相次いで中止となってしまいましたが、今後は新しい生活様式を取り入れ安心して参加できる対策を講じることを基本とし、各種大会を行う予定としております。

その他、ラグビーワールドカップ2019日本大会のメモリアルイベントについて、関係機関と協議し新型コロナウイルスによる影響が生じないよう対策を講じた上で開催を予定しております。

このように、新型コロナウイルスによる影響を大きく受けている中で、この時期だからこそ市民の安心・安全・健康な生活環境を整える必要性があることから、釜石市スポーツ推進委員協議会、釜石市体育協会等の協力を得て、誰もが取り組めるニュースポーツや軽運動の普及に努めながら、子どもから高齢者までの運動する機会の提供とともに、運動を通じたコミュニティづくりを推進します。

競技スポーツについては、釜石シーウェイブス RFC をはじめ関係団体との連携を強化し、「ラグビーのまち」として更なるラグビーの振興を図るとともに、各種スポーツ団体や釜石市体育協会などと連携し、各競技の選手強化と育成に努めます。

また、将来的な競技スポーツの振興も視野に、人口減少・少子化によって団体が減少しているスポーツ少年団などの活動も支援します。

2. 重点目標

- (1) 市民の運動不足解消や健康増進のため、幅広くスポーツに親しむことができるような動機づけや機会の創出を図る。
- (2) 市全体や県レベルのイベントを開催して交流を促進すると同時に、市民に希望をもたらし復興や地域の光となるような大規模スポーツ大会の開催に取り組む。
- (3) 震災からの復興の過程の中、次代を担う子どもたちが生涯にわたってスポーツに親しみ、また幼保、小、中、高とスムーズに接続することで、心身の基礎づくりや体力・運動機能の向上を目指す。
- (4) 体育施設の復旧を推進し、いつでも、どこでも、誰もが、健康に暮らせるまちづくりに努める。
- (5) 体育施設の利活用を念頭に、施設・自然・観光を素材とした交流人口の増加を図る。

3. 事業計画

1. 学齢期を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
市民スポーツの振興	友好都市（東海市・袋井市）ラグビー交流事業	姉妹都市の愛知県東海市や静岡県袋井市の児童とラグビー交流を開催することで、相互の交流と親睦を深める。	1年おきで開催地を入れ替えながら、2年1種目を原則とした交流試合の開催に対する補助金を交付。R3年度は、当市においてラグビー競技を種目として、東海市、袋井市の3市の交流を予定。 〔実施主体〕 釜石市体育協会 〔時期〕 9月25日（土）26日（日） 〔場所〕 鶴住居復興スタジアム うのすまイトモス 他 〔対象〕 東海市、袋井市、当市の小学生
【成果と課題】 <u>コロナ禍により中止</u>			
ラグビーワールドカップ2019レガシーへの対応	ラグビーによる人材育成事業	ラグビーワールドカップ2019レガシーの一環として、ラグビー人材の育成やラグビー競技の普及促進に努める。	市内におけるラグビー競技の普及促進に繋がる、ラグビー教室等の取り組みに対する支援により、競技の活性化を図る。 〔時期〕 通年 〔会場〕 市内小・中学校ほか
【成果と課題】			

2. 成人期を中心とした事業

施策	事業名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
スポーツイベントの推進	第11回仙人峠マラソン大会	仙人峠の地理的特徴を活用した、箱根駅伝に匹敵する難関マラソン大会の開催により、甲西地区のにぎわい創出やスポーツによる活性化を図る。	これまでは、全国から募集をし、前夜祭も含み盛大に実施していたが、コロナ禍により県内在住の方のみを対象として大会規模を若干縮小し開催予定。 〔時期〕 10月31日（日） 〔場所〕 旧釜石鉱山事務所周辺 〔コース〕 ①峠コース(17.2Km) ②10kmコース 〔部門〕 男女年齢別 11部門 〔対象〕 大会当日満16歳以上の男女
【成果と課題】 <u>コロナ禍により中止</u>			
市民スポーツの振興	富山県朝日町ビーチボール交流事業	友好都市である富山県朝日町で開催される「全国ビーチボール競技大会」に釜石市からチームを派遣し、スポーツを通じての相互の交流と親睦を深める。	釜石市からチームを派遣し、交流と親睦を深める。 〔時期〕 9月中旬 〔場所〕 朝日町文化体育センター 〔大会名〕 第37回全国ビーチボール競技大会
【成果と課題】 <u>コロナ禍により中止</u>			

3. 地域や世代を超えた事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
スポーツイベントの推進	第47回釜石健康マラソン大会	スポーツに親しむ機会の創出と、健康増進の意識向上を図る。	市民参加型年齢別のマラソン大会を開催する。 〔時期〕10月9日(土) 〔場所〕鶴住居復興スタジアム 〔種目〕①マラソン：3.2km、2.3km、1.5km、400m(幼児の部) ②リレー：100m×4 ほか 〔部門〕男女年齢別 20 部門 〔対象〕参加希望者(年齢・性別等不問)
【成果と課題】 コロナ禍により中止			
	いわて・かまいしラグビーマモリアルイベント開催事業	ラグビーワールドカップ2019の盛り上がり、ラグビーの人気や魅力、価値の高まりを弾みに、ラグビーワールドカップのレガシーを継承し、ラグビーを活かしたまちづくりを一層推進する。	当初実現を目指した「ナミビア対カナダ戦」がコロナ禍により実現できなかったが、入場者制限等感染防止対策を講じ、トップリーグチームとのメモリアルマッチやファンゾーンを開催。 〔時期〕R3.11.14(日) 〔場所〕鶴住居復興スタジアム 〔内容〕・釜石シーウェイブス対神戸
【成果と課題】			
市民スポーツの振興	健康づくりによる復興コミュニティ形成支援事業	ニュースポーツや軽体操など、高齢者を中心に誰でもできる運動を指導することにより、市民の身体健康維持増進と、ストレスの軽減や、生きがいづくりへの支援、ひきこもりの防止など、こころの健康維持増進を図る。	これまで仮設住宅団地や復興住宅等を中心に、運動体力維持活動支援策として講師派遣事業を実施し、ニュースポーツ等を取り入れた健康体操を行っていたが、今年度より公民館を中心に全市民を意識し事業を展開する。 〔時期〕通年 〔場所〕復興住宅・各地区公民館ほか 〔対象〕地域住民
【成果と課題】			
	第3回釜石市公民館対抗ニュースポーツ交流大会	ニュースポーツを通じて市民の健康維持増進への関心を高めてもらうことや、他地域のとう交流の場を創出するもの。	各公民館から15名程度でチームを構成し3種目のニュースポーツ対抗戦を行い、交流と親睦を深める。 〔時期〕12月4日(土) 予定 〔場所〕市民体育館
【成果と課題】			
選手の強化と指導者の育成	釜石ラグビィグドリーム事業	当市を象徴するラグビーを活用したイベントの開催でラグビーのまちとしての機運醸成を	釜石シーウェイブスRFCによる招待試合のほか、ラグビーを通じた交流イベントを開催する。 〔実施主体〕ラグビィグドリーム

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
		図るとともに、釜石シーウェイブスRFCの強化を支援する。	実行委員会 〔時期〕 R3.11.28 (日) 予定 〔場所〕 鶴住居復興スタジアム
【成果と課題】			

4. 学びの場を充実するための事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)	
関係団体との連携	釜石市体育協会補助金助成事業	市内各競技団体及びスポーツ少年団本部を通じての、競技団体の連携による活動の活性化を図る。	釜石市体育協会の運営支援として事業費及び人件費等を補助する。	
	【成果と課題】			
	各種スポーツ団体大会等助成事業	県大会規模以上のスポーツ大会の誘致を促進して交流人口の拡大を図る。また、全国で行われるスポーツ大会に参加し釜石市のPRと市民のスポーツ向上に寄与する。	釜石市体育協会及び釜石市体育協会への加盟団体、大会実行委員会、各種競技団体が行うスポーツ大会に要する経費に対し、補助金を交付する。 【主な助成事業】 ・釜石はまゆりトライアスロン国際大会 開催予定：9月5日(日) 中止 ・釜石オープンウォータースイミング大会 開催：8月1日(土) 参加者数：234人	
【成果と課題】				
スポーツ情報の提供	スポーツ情報提供事業	スポーツに関する情報発信を行うことで、各種事業の参加拡大や生涯スポーツへのきっかけづくりを図る。	市ホームページへの記事掲載、体育施設等への掲示、各種催事の報道機関への情報提供等を行う。 〔時期〕 通年 〔対象〕 一般市民ほか	
	【成果と課題】			